

〔萬葉集〕雜歌 山部宿禰赤人歌六首○五

美沙居石轉爾生名乘藻乃名者告志五餘親者知友

〔萬葉集〕旋頭歌 梓弓引津邊在莫謂花及採不相有目八方勿謂花

海底與玉藻之名乘曾花妹與吾此荷有跡莫語之花

右二十三首○二十 柿本朝臣人麿之歌集出

〔催馬樂〕律 伊勢海一段 拍子十 無空拍子

いせのうみのいせのうみのきよきなきさのまほがひになのりそやつまんかひやひろはん玉  
やひろはん

〔毛吹草〕和泉 石津神馬藻

〔攝陽群談〕名物土產 住吉神馬艸 同郡○東 住吉浦ニアリ、年始ノ飾世云穗俵ハ、是神馬艸ヲ設ケ

所造之也

〔日次紀事〕正月 蓬萊臺倭俗新年三寶臺置海老鬚斗昆布櫃橙

〔食物和歌本草〕海藻

神馬草は結氣を散す女子癩瘰上下に鳴かたく痛に 神馬草は疝氣やむには常にくへ又大き

んのくすり也けり 神馬草は石淋に吉又水腫皮の間のかたまりを治す 神馬草は脚氣腎積

藥也宿食を去膈をよく去

〔倭名類聚抄〕海菜 鹿尾菜 辨色立成云六味菜比○須○木○毛○ 楊氏漢語抄云鹿尾菜

〔箋注倭名類聚抄〕比須歧毛或云比之歧毛見伊勢物語今俗省呼比自歧按閩書云羊栖菜生海

石上長四五寸微黑色出漳浦是可以充之

〔東雅〕十三藻略 中 倭名抄○中 辨色立成の六味菜漢語抄の鹿尾菜并にヒスキモといふ義

鹿尾菜